

会長挨拶

日本小児歯科学会関東地方会  
第17代会長 早川 龍



関東地方会の皆さまには、平素会務に対しましてご尽力、ご協力を賜り深謝申し上げます。また第34回関東地方会大会におきましては、大変多くのご参加をいただき、参加者が史上最多の900名を超えたことをご報告申し上げます。ありがとうございました。

さて平成28年度になりますが、東京都の子どもの安全に対する協議会で「子供に対する歯ブラシの安全対策」について協議がされました。私はその協議会に小児歯科学会代表として出席しておりました。事故につきまして何が問題かと申しますと、事故はそれ以前から減少傾向にはなく、協議会后3年が経過しますが、微減したか？というのが現状です。この際少しでも多くの機会にその事をお伝えし、子どもの歯ブラシ事故撲滅を目指し、今回は会誌の紙面にて、事故防止啓発活動にご協力をお願いさせていただく次第です。

東京消防庁の歯ブラシ事故による救急搬送は、ほぼ毎年40件前後を推移しております。またその事故は、2歳までの発生が大多数を占めております。事故防止で最も大切なのは「見守り」と考えがちですが、実際に事故は0.5秒で起こるといわれており、見守りだけでは防ぎようがありません。また発生する年齢を考えますと、私たち小児歯科医療を担当するものにとって、歯ブラシは虫歯予防の最前線の道具であり、この道具自身を否定されては大変困るわけです。子どもの事故事象に詳しい小児科の山中によれば、事故対策としては変えられることと変えられないことに分けて考え、変えられることを変えることによって、直接変えられないことに変化をもたらす方法が効果的と提言しております。歯ブラシ事故では、歯磨き中に転倒、または何かにつぶかることによってほとんどが生じます。ここを変えるには、自分での歯磨きは座らせて行う、洗面台が高く台に乗らなければ含嗽ができないときには、台に乗る前に歯ブラシを置かせることが変えられる具体的な方法となります。また万が一歯磨き中に歯ブラシが口腔内に強く当りそうになった時に、喉を突くなどの防止、安全対策が施された道具を使うことも重要であり、変えられることの一つです。

現在、日本ではいろいろな対策が施された歯ブラシが販売されていますが、安全性が高いと思われるものは、強い力がかかると歯ブラシの柄が曲がるタイプと考えます。株式会社DHL社とライオン株式会社、ライオン歯科材株式会社からそのような歯ブラシが販売されております。後者の二社は同等品で、歯材社からは歯科材料販売店経由で歯科診療所でも購入が可能です。

子どもが体を守る道具によって、体に傷を負うことは大変不幸なことです。このような事故を防ぐために歯科医療者は啓発しかできないかもしれません。しかし、事故事態を世の中に知らしめなければ、事故を撲滅することは不可能です。そのことで一番力を発揮できるのは歯科医療関係者であり、その力により事故を

必ず減少できると考えております。全国の歯ブラシ事故件数は未知ですが、まず東京消防庁の事故搬送件数を減らせるのは関東地方会の皆様の力によって可能だと考えます。そのことが全国に広まるよう、まず事故があることを知っていただき、歯ブラシ事故防止の方法が常識となるよう、お力をお借りしたいと思います。なおこの件につきましては、日本歯科医師会雑誌 令和2年2月号に詳しく掲載をさせていただきました。子どもの歯ブラシ事故が少しでも減少しますよう、お一人おひとりのお力をお貸してください。

## 日本小児歯科学会 第35回関東地方会 大会・総会開催のご案内

大会メインテーマ：地域小児歯科の Level Up !!

日 時：2020年10月25日（日）  
場 所：取手市立市民会館・福祉会館  
大 会 長：田中 晃伸  
準備委員長：富永 真澄、萩原 洋子

茨城県内にて日本小児歯科学会関東地方会が開催されるのは、15回の土浦大会以来20年ぶりです。当時、私は準備委員長として会の運営に携わり、多くの諸先生方にご指導とご協力をいただきながら、なんとか無事大会を終えることができたことが昨日のように思い出せます。

今回は取手におきまして35回大会を大会長として開催させていただく運びとなりました。

さて、私自身この20年間におきまして本会の役員末席に座らせていただいている立場上、全国大会は当然ながら他の地方会に参加する機会が多くあり、地方会の存在意義を少し整理してみました。

1. 地方会大会は全国大会とは異なり、日時・地理的に参加しやすい歯科衛生士・歯科医師を主に対象とされるべきである。
2. 地方会大会は全国大会に比較し、発表内容は基礎的な内容よりも臨床的な内容に重心を置く方が好ましい。
3. 地方会大会は単に学会員だけのものではなく、その地域の小児歯科医療の普及とレベルアップを目的とすることも重要である。
4. 地方会大会は少人数参加であるために、逆にその機動性を生かし、全国大会ではできない思い切ったアイデアや企画を行うべきである。

以上のような視点から、地方会大会は本会の相似的なミニ大会ではなく、地域の小児歯科の啓蒙と向上を目的としたいと考えました。

35回大会は小児歯科学会に所属の有無に関わらず、小児歯科を標榜されている一次医療機関の歯科医師・歯科衛生士に対しても、知識や情報を発信できるような大会にしたいと思います。

一日のみではありますが、色々な企画を準備しておりますので、是非、明日からの臨床に役立てていただければ幸いです。

## 日本小児歯科学会 第34回関東地方会大会を終えて

大会長 浜野 美幸

昨年は全世界的に気候変動による異常気象の影響を受けて、各地で未曾有の災害がありました。その中でも日本が一番影響を受けたといわれています。まずは自然災害で被災された方に心からお見舞い申し上げます。

日本小児歯科学会第34回関東地方会大会は、その気候変動の影響でしょうが、台風の合間を縫って9月16日文京シビックホールで開催でき、地方会としては最高の923名の参加がありました。医療関係者だけでなく、多職種の方がご参集くださいまして、ホワイエなどで談笑される姿が印象的でした。

「子どもプロジェクト —社会が育てる心とからだ—」が大会テーマでしたので、多角的な視点からの貴重なご講演をしていただきました。基調講演は、新谷教授から、小児歯科の最新の研究、世界の小児歯科話題（ECC）を提示していただきました。特別講演の帖佐教授は、整形外科の領域からの運動器について、さらに子どもの心と体を診るポイントについてお話しをいただきました。臨床講演では、小方頼昌教授からは、歯周病と全身疾患の関係・歯周組織再生療法について、齊藤正人教授からは

MTAを活用した小児の歯周療法に関して、両先生ともに最新知見から臨床応用の役立つスキルまでご講演くださいました。歯科衛生士地方会研修セミナーでは、元山彩織先生、三輪直子先生、田中英一先生から「みる」ということから無限大の広がりを感じさせ、考えさせられ、夢が広がる話を頂戴し、歯科衛生士さん方に温かいメッセージが伝わったことを感じました。市民公開講座の数学者ピーター・フランクルさんからは、未来を生きる子ども達へご自身の体験も含めたメッセージをお話くださり、大道芸では会場が湧きました。臨床に役立つスキルを確実に会員の先生方に届けたいという趣旨で初めて企画されたハンズオンセミナーでは、小児科の埴佳生先生からアレルギーの話とアナフィラキシーの対応について、山田亜矢先生からシーラントについて丁寧なご指導があり、好評を博していました。ランチョンセミナーは、土岐志麻先生のガムを使ったトレーニング方法、小林馨先生のコンビームCTで見る歯列と顎関節、梶美奈子先生のS-PRGファイラー予防関連製品の臨床活用法のセミナーがありましたが、チケットは早くになくなり、立ち見が出る



第34回関東地方会総会後の合同写真



懇親会での記念写真（於：スカイホール）

ほど盛況でした。若き研究者の集いとして、田中亜生先生、古澤慧美先生、根本晴子先生から最新の研究のプレゼンテーションがありました。ポスター発表は、関東9大学からは予防処置について、社会保険委員会の企画、一般演題は27題、認定歯科衛生士資格申請は3題、専門医・認定医更新ケースプレゼンテーションは17題と多くの先生が発表し、熱い討論が行われていました。大会中に開催された関東地方会モニター会議は、大変有意義な時間でした。モニターの先生をはじめ会員の皆様からのご意見、ご要望、また今大会の反省を今後の大会の企画、運営に生かしていきたいと思っております。大会最後にスカイホールで行われた懇親会には、演者の先生方、会

員、協力企業の100名以上の方が参加され、和やかに親交を深める会になりました。

改めて、多くの感動をいただき、ご参加、ご協力くださいました皆様に大会長として心から感謝を申し上げます。

今年は10月25日（日）取手市立市民会館・福祉会館にて第35回関東地方会大会が開催されます。テーマは「地域小児歯科のLevel Up!!」です。皆様と取手でお目にかかれ、小児歯科のスキルアップをすることで社会に貢献し、今回の大会テーマであります「子どもプロジェクト」が続いていくことを願っております。

## ●日本小児歯科学会関東地方会 令和元年度総会次第

日時：令和元年9月16日（月） 9：30～  
場所：東京都文京区 文京シビックセンター

### ◎総会次第

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| I. 開 会              | 2. 平成30年度会計決算承認の件        |
| I. 会長挨拶             | 3. 監査報告                  |
| I. 来賓挨拶             | 4. 平成31年度、令和元年度事業計画案承認の件 |
| I. 議長選出             | 5. 平成31年度、令和元年度予算案承認の件   |
| I. 報告事項             | 6. 次期大会（第35回大会）開催案承認の件   |
| ・平成31年度、令和元年度事業概況報告 | 7. その他                   |
| I. 議 案              | I. 閉 会                   |
| 1. 平成30年度事業承認の件     |                          |

◎事業報告（平成30年度：平成30年4月1日～平成31年3月31日）

- 幹事会開催  
H30 4/11, 6/20, 9/12, 11/28,  
H31 1/23（計5回開催）
- 第33回地方会大会および平成30年度総会開催  
H30 10/6, 7（栃木県宇都宮市 宇都宮市文化会館）
- モニター会議開催  
H30 10/7（栃木県宇都宮市 宇都宮市文化会館）
- 関東9歯科大学小児歯科学講座・分野との懇談会開催  
H31 2/25（東京医科歯科大学）
- 各種委員会開催
- ジョイント4ワークショップ2018開催
- H30 8/5 昭和大学旗の台校舎
- 公益社団法人日本小児歯科学会理事会出席  
H30 5/9（大阪）  
H30 9/2（横浜）  
H30 12/2（横浜）  
H31 3/3（横浜）
- こどもの健康週間2018パンフレット発行
- 第65回日本小児保健協会学術集会への参加
- 小児科との連携・共催事業  
「じょうぶな体とじょうぶな歯のセミナー  
—わが子を元気に育てる秘訣」  
H31 1/27（中野区医師会館）
- 会報No.33発行  
H31 3/25 発行

平成30年度日本小児歯科学会関東地方会・会計決算報告

自 2018年4月1日  
至 2019年3月31日

科目		決算額	備考	
I 収入の部	会費収入	入会金	0	
		会費収入	0	
		賛助会費収入	0	
	事業収入	大会収入	6,124,070	地方会大会収入合計
		広告収入	0	
	寄付金収入	寄付金収入	2,003,500	本部からの補助金等
	雑収入	受取利息	5	
雑収入		0		
当期収入合計 (A)		8,127,575		
前期繰越収支差額		0		
収入合計 (B)		8,127,575		
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	0	会誌・ニュースレター等（会計決算日の変更により来年度の支出としました） 第34回地方会大会への補助金 第33回地方会大会支出合計
		大会補助金	350,000	
		大会事業費	6,900,361	
		関連団体年会費	50,000	
		表彰費	0	
		什器備品減価償却額	0	
	管理費	各種委員会費	320,000	委員会関係の支出（セミナー、シンポジウムを含む） 役員会開催費・出張費・慶弔費等 印刷費・通信費・消耗品・雑費等
		本部会議費	581,900	
		事務費	22,652	
		ホームページ運用費	212,220	
特別支出	寄付金支出	0		
予備費	予備費	56,620		
当期支出合計 (C)		8,493,753		
当期収支差額 (A) - (C)		-366,178		
次期繰越収支差額 (B) - (C)		-366,178	本会会計から補てん	

## 監査報告

事業及び関係書類、帳簿など精査の結果、正確であることを証します。

平成 31 年 4 月 17 日

監事 井上 雄温

監事 丸山進一郎

### ◎平成 31 年度、令和元年度日本小児歯科学会関東地方会・事業計画

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 幹事会および 4 役会の開催</li> <li>• 委員会の開催<br/>(ジョイント 4 委員会, 歯科衛生士委員会, モニター委員会, 学術委員会, 学会発表審査委員会, 広報委員会)</li> <li>• 公益社団法人日本小児歯科学会関連事業への協力</li> <li>• 日本小児歯科学会第 34 回関東地方会大会・令和元年度総会の開催</li> <li>• 関東 9 歯科大学小児歯科学講座・分野との懇談会の開催</li> <li>• モニター会議の開催</li> <li>• 会報 (第 34 号) の発行</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 関東地方会ホームページの運用</li> <li>• 小児科との連携・協働</li> <li>• 各地方会および他学会との交流</li> <li>• 日本小児歯科学会第 35 回関東地方会大会・令和 2 年度総会の準備</li> <li>• 男女共同参画ならびに地区小児歯科標榜医への啓発</li> <li>• ジョイント 4 ワークショップ 2020 (シンポジウム) の開催<br/>(口腔衛生関東地方研究会, 日本障害者歯科学会, 日本小児歯科学会関東地方会, 日本歯科衛生学会)</li> <li>• その他, 目的を達成するための活動</li> </ul> |
|---|---|

### 平成 31 年度、令和元年度日本小児歯科学会関東地方会・予算案

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

科目		予算額	備考	
I 収入 の 部	会費収入	入会金 0 会費収入 0 賛助会費収入 0	過年度会費, 本年度会費	
	事業収入	大会収入 5,300,000 広告収入 0	関東地方会大会収入合計	
	寄付金収入	寄付金収入 3,119,923	本会会計からの補助金	
	雑収入	受取利息 6 雑収入 0		
	当期収入合計 (A)		8,419,929	
	前期繰越収支差額		0	
	収入合計 (B)		8,419,929	

Ⅱ 支 出 の 部	事業費	会誌刊行費 大会補助金 大会事業費 関連団体年会費 表彰費 什器備品減価償却額	650,000 350,000 5,300,000 0 0 0	会報 33 号発行 第 35 回地方会大会への補助金 第 34 回地方会大会支出合計
	管理費	各種委員会費 本部会議費 事務費 ホームページ運用費 税理士手数料等	310,000 420,000 35,000 210,000 0	委員会関係の支出（セミナー、シンポジウム含む） 役員会開催費・出張費・慶弔費等 印刷費・通信費・消耗品・雑費等
	特別支出	寄付金支出	1,099,929	本会会計に返金
	予備費	予備費	45,000	
	当期支出合計 (C)		8,419,929	
	当期収支差額 (A) - (C)		0	
	次期繰越収支差額		0	

◎会員数

上段：平成 31 年 1 月現在 下段：令和 2 年 1 月現在（名）

	正会員	準会員	名誉会員	会員数合計	専門医 指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科 衛生士
茨城県	75	3	0	78	2	14	3	0
	75	9	0	84	2	14	2	0
栃木県	46	1	0	47	0	4	1	1
	45	1	0	46	0	4	0	1
群馬県	43	1	0	44	0	7	0	0
	40	2	0	42	0	7	0	0
埼玉県	244	18	1	263	8	59	4	3
	236	20	0	256	7	55	3	5
千葉県	235	16	4	255	16	55	1	7
	230	16	5	251	17	57	1	10
東京都	808	72	8	888	39	199	22	7
	813	71	7	891	39	200	23	7
神奈川県	310	43	2	355	20	78	7	6
	315	37	2	354	20	82	7	6
山梨県	25	3	0	28	0	0	0	0
	24	2	0	27	0	0	0	0
合計	1,786	157	15	1,958	85	416	38	24
	1,779	158	14	1,951	85	419	36	29
全国	4,524	404	32	4,960	228	1,151	96	121
	4,528	426	36	4,990	136	1,169	88	136

## 委員会報告

### ジョイント 4 委員会

委員長：藤岡万里

委員：田中英一，熊澤海道，草間里織，保田将史，  
吉中 律

新元号の令和となりましたが、「ジョイント 4」は平成であった 2001 年に「ジョイント 3」として 3 学会（日本口腔衛生関東地方研究会，日本障害者歯科学会，日本小児歯科学会関東地方会）が連携，協力してスタートし，その後日本歯科衛生学会も加わ

り、現在の「ジョイント4」として開催しております。

昨年2019年は一度、過去を振り返り、また今後のテーマについて再検討するためにお休みをいたしました。一昨年の2018年は、保険導入された「口腔機能発達不全症」をテーマに3名の講師でリレー講演として開催いたしました。当日は歯科医師のみならず、歯科衛生士の参加も非常に多く、「ジョイント4」の広がりを感じるシンポジウムになりました。令和初の開催となる今年2020年では歯科医療従事者にとどまらず、多くの職種の方と連携、協調、協働できるような内容を企画していきたいと思っております。

そのために「ジョイント4」を構成する4学会の主担当で協議、検討しております。

毎回お伝えしているように、「ジョイント4」は臨床経験の長さの有無に関係なく、【未来ある大切な子どもたちのために！】という思いで4学会が連携、協力して開催しているものです。ぜひまた多くの皆様に参加していただきたいと思っております。

## モニター委員会

委員長：岩下 智

委員：諸星孝夫、関口五郎、中村佐和子、  
熊澤海道、関 龍彦

モニター委員会は関東地方会の会員の皆様から、広く様々な視点からご意見を伺うことを目的に、会員と幹事を繋ぐ役割を担っております。モニターの皆様には関東地方会大会のモニター会議において、会の運営やあり方などについて開業医、大学勤務医、歯科衛生士の立場からご意見をいただき、地方会や本会運営に役立たせていただいております。

第34回関東地方会大会のモニター会議においては、早川会長より歯みがきアプリについての見解があり、小さい子どもにメディア関連の媒体で指導するのは不適切と考え、また歯みがき事故に繋がるようなものもあるので推奨していないと述べていました。昨年議題とした認証医制度については、専門医

制度の改革に併せて検討する必要がある、審議を中断している状況との説明がありました。このほか、他職種、特に栄養士の講演を希望する意見が多くありました。一般歯科衛生士の参加を促してレベルアップの機会にしてほしい、一般開業医の集患アピールほど内容がともなわず、早期に専門医に任せしてほしい等の意見もありました。またハンズオンセミナーは企画も良く、多くの希望者があったようです。

モニターは専門医申請時の「社会への貢献」の単位に該当します。今後もモニターの交代をスムーズに行ううえで、各県での推薦をいただけるようお願いいたします。

## 学術委員会

委員長：伊田 博

委員：高野博子、小方清和、権 暁成、関 龍彦

1. 第66回日本小児保健協会学術集会への参加、発表  
2019年6月20日(木)～6月22日(土)の日程でタワーホール船堀にて開催の第66回日本小児保健協会学術集会のシンポジウム2『口腔機能の発達と発達不全』のセッションで浜野美幸委員と、シンポジウム6に『医療的ケア児を地域で支える新しいネットワークとシステム』のセッションで、小方清和委員がシンポジストとして講演いたしました。
2. 地方会大会における学術的な企画運営に関わる
  - 第34回関東地方会大会における教育講演等の協力および同大会における市民公開講座の開催の協力
  - 第35回関東地方会大会における企画の協力
3. 子どもたちの健やかな育ちを考える学会・団体との学術的な交流を図る
  - 日本小児保健協会委員会参加
  - 健やか親子21対応委員会参加
  - 東京小児科医会との共催事業としての『市民公開セミナー』の参画



学術委員会では、上記の3つの項目を念頭に、継続して事業を展開しています。

今後も、関東地方会大会企画での学術的な協力および子どもたちの健やかな育ちを考える学会・団体と幅広く学術的な交流を図っていきたいと思います。

## 歯科衛生士委員会

委員長：草間里織

委員：井上雄温，田中晃伸，藤岡万里，柿野聡子，  
権 暁成，山崎 優

2019年度歯科衛生士委員会では、第34回関東地方会大会におきまして下記項目に関して実施しました。

### 1. 認定歯科衛生士地方会研修セミナーの開催

「親子支援」を主軸としたテーマでリレー形式の講演を企画し、保健師、歯科衛生士、歯科医師のそれぞれの立場からの関わり方ポイントや親子支援の視点について学ぶことを目的としました。中京学院大学看護学部看護学科教授・保健師：元山彩織先生からは「親子支援を原点から考えるープラスの世代連鎖を考慮した親子への関わり方ポイントとはー」として養育者自身の自己肯定感が高まることでプラスの転換になり、情緒的関わりができるようになることを我々は改めて気づくことができました。臨床の現場では「五感でしっかり感じる」ことの大切さ、親子への声掛け、考え方の配慮、何が親子の問題となっているかを見極めるアセスメント力は専門職として重要であることを痛感しました。神奈川県立子ども医療センター歯科・歯科衛生士：三輪直子先生からは「みる力を身につける」として「みる」とは何か、「観る・看る・診る・視る」の展開からこれまでの親子支援の事例を交えた内容は、経験の有無に関わらず多くの歯科衛生士が考えさせられる機会となりました。自分を知ること、思いやりを持って接すること、相手に関心を持つことが行動観察につながり、「みる」力を身につける根源になります。田中歯科クリニック・歯科医師：田中英一先生からは

「小児歯科医から歯科衛生士さんへのメッセージ この地に生まれた子どもの健やかな育ちを、一緒に応援しましょう！」として、我々は子どもの育ちを支えるチームに加わるのが大切であること、親子支援と共に自分自身を振り返る機会になり「自分達も育つことができるという小児歯科医である先生からの熱いメッセージ」は、会場の参加者の心に響くものとなりました。約130名近い参加者が集まり大変盛況であり、臨床の現場で我々が取り組むべき親子支援の原点を学べる素晴らしいセミナーとなったと思っております。

### 2. 今後の活動

- ① 認定歯科衛生士の取得に関する広報活動
- ② 第35回大会に関する認定歯科衛生士地方会研修セミナーの企画・運営
- ③ モニター委員会との協働・連携と歯科衛生士のモニター増員に向けての検討

## 学会発表審査委員会

委員長：巢瀬賢一

委員：早川 龍，田中晃伸，浜野美幸，小方清和，  
藤岡万里，高橋康男，高野博子，田中英一，  
井上雄温，丸山進一郎

### 1. 目的

- 地方会大会発表演題申し込み内容の確認
  - 地方会大会発表演題申し込み内容の評価
- ### 2. 専門医・認定医更新ケースプレゼンテーション申し込み内容の確認
- 専門医・認定医更新ケースプレゼンテーション申し込み内容の評価
  - 専門医指導医関東地方会会長推薦承認の審査
  - 専門医制度（専門医取得条件等）に関する検討
  - 学会大会発表および小児歯科学雑誌等への論文投稿時、個人情報管理方法等審査

### 3. 活動経過（平成31年1月31日現在）

- 第34回大会時の専門医更新ケースプレゼンテーション申し込み内容の確認および評価

- 専門医指導医申請における学会活動についての検討
- 日本小児歯科学会専門医認定委員会委員(大学)推薦の確認

## 広報委員会

委員長：高橋康男

委員：柿野聡子, 岩下 智, 田中晃伸, 谷 博司,  
富永真澄, 保田将史, 山崎 優

広報委員会発足後、2年経過しましたが、順調に軌道に乗ってきたと思われまふ。今年度行った活動内容は下記の通りです。

- ①広報誌発行：毎年、年度末に発行しお届けしております。

② HP 運用：特に関東地方会大会についての情報を大会前に掲載いたしました。

③ メールマガジンの原稿執筆：年に4回程度お届けしております。

④ こどもの健康週間事業関連：こどもの健康週間2019パンフレット発行しました。

(<http://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/kodomo.html>)

⑤ 標榜医への啓発活動等

⑥ その他の広報

となっておりますが、すべてにおいて十分でなく、特に⑤⑥については課題も多く見受けられます。今後も、各担当者の奮闘に期待しつつ、新たな課題が見つければ臨機応変に対応していきたいと考えております。

会員の皆さまにとって有意義な情報を発信できるよう今後も続けていきたいと思ひます。

## 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会開催

令和2年2月17日(月)、令和初の「令和元年度 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会」がTKP スター貸会議室四谷にて開催されました。本会議室利用は初めてのため、来場に苦勞した参加者も多く見受けられました。

懇談会は今回で20回目を迎え、大学からは以下の先生方にご出席いただき、幹事会からも22名の幹事が参加しました。

出席者(50音順): 荻部洋行教授(日本歯科大学), 木本茂成教授(神奈川歯科大学), 清水武彦教授(日本大学松戸歯学部), 白川哲夫教授(日本大学), 新谷誠康教授(東京歯科大学), 船津敬弘教授(昭和大学), 星野倫範教授(明海大学), 宮新美智世准教授(東京医科歯科大学)。

オブザーバー: 牧 憲司教授(九州歯科大, 公益社団法人日本小児歯科学会副理事長)

浜野美幸幹事長の司会のもと、富永真澄副会長の開会の挨拶に続き、早川 龍会長による会長挨拶が行われました。オブザーバーで出席された牧副理事長に労いのことばをかけられた後、牧副理事長、本懇談会初参加である船津教授(昭和大学)の挨拶がありました。

「公益社団法人日本小児歯科学会の動き」として、小児歯科学会理事長の木本教授から新専門医制度と保険改正の説明がありました。日本小児歯科学会専門医については、日本歯科専門医機構から認証されたとのことでした。第60回日本小児歯科学会大会については、大会長の白川教授より報告がありました。会場は幕張メッセを予定、準備委員長は埼玉県社会福祉事業団嵐山郷の内田 淳先生にお願いしたとのことでした。次に新谷教授からPDAA第12回大会が2020年6月12~14日、ソウル(韓国)にて



懇談会風景

9大学の先生方と牧憲司教授，関東地方会幹事会の先生方

開催されることの再告知がありました。事前登録をお願いしたいとのことでした（3月1日現在，8月に延期との情報があります。今後については学会HPをご確認ください）。

「関東地方会の動き」については，浜野美幸幹事長より関東地方会会員動向，令和元年度活動概況報告および令和2年度事業計画案についての報告がありました。会員動向については，関東地方会の正会員数の減少，各委員会の活動については，ジョイント4委員会，学術委員会，モニター委員会，歯科衛生士委員会および広報委員会の各担当幹事より報告がありました。今年度開催がなかったジョイント4については，来年度は日本大学歯学部附属歯科病院7階創設百周年記念講堂にて11月3日（祝）開催予定との報告がありました。

昨年9月16日に文京シビックホールで開催されました第34回関東地方会大会については，浜野大会長より総括がありました。923名の参加があり盛会裏に終了したとのことでした。活気のあるポスター発表，初めてのハンズオンセミナー，企業担当との交流など改めてその盛況ぶりが報告されました。第35回関東地方会大会の準備状況については，田中晃伸大会長より報告がありました。なお，会場は茨城県取手市立市民会館・福祉会館で詳細につい

ては，配付資料の大会案内をご覧いただきたいとのことでした。第36回関東地方会大会の準備状況については，吉中律準備委員長より報告がありました。開催予定日は2021年10月17日（日），会場は埼玉県川越市とのことでした。

「各講座・分野からのご意見・ご要望」に関しては，日本歯科大学の荻部教授より，第34回大会におけるポスター発表の盛況ぶりから，第35回大会での関東9歯科大学によるポスター発表は不要ではないか，とのご意見をいただきました。また，「若き研究者の集い」の演者は年齢関係なく自ら若いと思えば可能であるかとの質問がありました。それに対し田中晃伸大会長は，関東9歯科大学によるポスター発表は学会参加者や特にモニターの会員から評判が良いことから，ぜひ続けさせていただきたいとの考えを述べました。また若き研究者の集いは，あくまで若い先生方の発表の機会として考えているとの返答でした。神奈川歯科大学の木本教授からは，学会年会費についての報告がありました。日本大学松戸歯学部の清水教授からは，医療事故支援制度について情報提供としての説明がありました。医療事故が起きた場合，医療事故支援センターへ連絡とのことでしたが，この制度の対象は歯科医師会会員とのことでした。日本大学の白川教授からは，第60回大



関東9大学小児歯科学講座の先生方とオブザーバー参加の牧憲司副理事長（一番右）



関東地方会幹事会四役の先生方  
左から田中晃伸副会長，早川 龍会長，浜野美幸幹事長，富永真澄副会長

会準備状況と研究倫理についての説明がありました。東京歯科大学の新谷教授からは、専門医更新ケースプレゼンテーションについての問題点についてご指摘をいただきました。それに対し早川会長より今後ケースプレゼンテーション審査法については、本会専門医認定委員会にて検討していただくとの返答がありました。昭和大学の船津教授からは、「若き研究者の集い」のテーマを臨床的な方向にシフトした方がよいのではないかとのご意見をいただきました。明海大学の星野教授からは、開催地が大学拠点と同様埼玉県であることより、第36回関東地方会大会について再度の案内がありました。東京医科歯科大学の宮新准教授からは、大会当日におけるポスターセッションの質疑応答の内容を事後抄録に記載

することの重要性についてご意見をいただき、また今回が懇談会最後の参加となることから、感謝の言葉をいただきました。さらに牧副理事長より、関東地方会の結束力と小児科との連携についてなど、期待と励ましの言葉をいただきました。

以上のようなご意見・ご要望に対し早川会長からは、関東9歯科大学と関東地方会の進む方向は同じであることの確認ができ、大変有意義な時間が共有できたことへの感謝と、今後もこの懇談会を続けたいと締めくくりました。

総じて、今回も活発な意見交換や情報共有を行うことができました。最後に田中晃伸副会長の閉会の挨拶で終了となりました。

## 各地方会大会開催案内

### 第 38 回北日本地方会大会および総会

第 38 回北日本地方会大会および総会は、令和 2 年 9 月 27 日（日）札幌市 北海道自治労会館にて「個性を育む」をテーマに開催予定です。

北海道医療大学の齊藤正人大会長、福田敦史準備委員長のもと、教育講演、特別講演 1、特別講演 2、認定歯科衛生士研修セミナーの併催も予定しております。

本大会では、教育講演に元北海道日本ハムファイターズコーチ 白井一幸先生をお迎えします。白井先生は、前向きな気持ちを持たせるコーチング理論の第一人者です。小児の個性を育むためのヒントはもちろん、新人教育の点からも大変有意義な講演になるかと思えます。また、福祉の立場からの発達障害に関する特別講演 1、歯周病専門医指導医による小児の歯周疾患に関する特別講演 2、歯科心身症や認知行動療法に関する認定歯科衛生士セミナーと充実したプログラムを用意しております。

ぜひ参加をお待ちしております。

日 時：令和 2 年 9 月 27 日（日）

会 場：北海道自治労会館（札幌市）

大会長：齊藤正人（北海道医療大学）

準備委員長：福田敦史（北海道医療大学）

学会テーマ：「個性を育む」

（講演者、講演内容等）

教育講演：

講師：白井一幸先生

（元北海道日本ハムファイターズコーチ・  
野球解説者）

「(仮題)子どもの個性を生かすコーチング法」

特別講演 1：

講師：大友愛美先生

（特定非営利活動法人ノーマライゼーション  
サポートセンター

こころりんく東川副理事長）

「(仮題) 自閉症スペクトラムを有する小児の  
対応」

特別講演 2：

講師：古市保志先生

（北海道医療大学歯学部歯学部長）

「(仮題) 小児の歯周疾患」

認定歯科衛生士セミナー：

講師：安彦善裕先生

（北海道医療大学歯学部臨床口腔病理学  
分野教授）

大会事務局

〒061-0293

北海道石狩郡当別町金沢 1757 番地

北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系小  
児歯科学分野

TEL/FAX：0133-23-1412

E-mail：atsushi@hoku-iryu-u.ac.jp

### 第 39 回日本小児歯科学会中部地方会 大会および総会

日 時：令和 2 年 11 月 22 日（日）

会 場：富山国際会議場大手町フォーラム

大会長：佐野正之（あすなろ小児歯科 富山市）

準備委員長：渡邊淳一（さの小児歯科 射水市）

大会テーマ：「夢を追いかけるのは子ども達だけで  
しょうか？」

大会内容：

- 1) 特別講演Ⅰ「小児歯科学会がえがく未来の小児歯科医師像は一専門医委員会からの提言— (仮)」  
飯沼光生先生 (朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学教授)
- 2) 特別講演Ⅱ「小児歯科の現在・過去・未来 (仮)」  
早崎治明先生 (新潟大学医歯学総合研究科小児歯科学分野教授)
- 3) シンポジウム「おおいに語りあおうよ 小児歯科の未来を！ (仮)」  
パネラー  
小椋正之先生 (厚生労働省歯科医療管理官)  
星野倫範先生 (明海大学歯学部形態機能成育学分野口腔小児科学教授)  
石谷徳人先生 (イシタニ小児・矯正歯科クリニック院長)
- 4) 認定歯科衛生士セミナー シンポジウム「小児の食事に、私たち歯科衛生士はどうかかわればよいか？ (仮)」  
パネラー  
配島桂子先生 (浜松医療センター歯科口腔外科部長)  
保育士 (現在交渉中)
- 5) ランチョンセミナーⅠ「コンポジットレジン修復のツボ (仮)」(株) モリタ提供  
田代浩史先生 (田代歯科医院院長)
- 6) ランチョンセミナーⅡ「小児歯科医療に携わるスタッフが知っておくべき乳児・幼児の食事について (仮)」(株) リッチェル提供  
配島弘之先生 (松本歯科大学地域連携歯科学講座教授)
- 7) 歯科衛生士自由集会  
「お茶しながら…本音で語りあいませんか？ 予防のあれこれ！」
- 8) ポスター発表
  - (1) 一般演題発表
  - (2) 専門医・認定医・認定歯科衛生士更新ケースプレゼンテーション

- 9) 総会
- 10) 商業展示
- 11) 学会懇親会「お酒とスイーツのタベ」  
11月22日(日) 17:00~18:00 (予定)  
※専門医セミナー 11月23日(月)  
9:30~12:30  
場所：富山国際会議場大手町フォーラム  
演者、テーマ未定

大会事務局：第39回日本小児歯科学会中部地方会  
大会事務局

〒939-0341

富山県射水市三ヶ 2436-2

さの小児歯科医院内

TEL：0766-57-8071 FAX：0766-57-8091

E-mail：sano-shounishika@mountain.ocn.ne.jp

**第39回日本小児歯科学会近畿地方会  
大会および総会**

日 時：令和2年10月18日(日)

会 場：大阪国際交流センター

大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6

大会長：有田憲司

準備委員長：原田京子

学会テーマ：「人生100年時代に生きる子どもたちの健康歯援」

内容

特別講演：

野井真吾先生 (日本体育大学体育学部健康学科教授)

教育講演Ⅰ (認定衛生士セミナー併設)：

杉山精一先生 (日本ヘルスケア学会代表)

教育講演Ⅱ (認定衛生士セミナー併設)：

片岡宏介先生 (大阪歯科大学歯学部口腔衛生学講座准教授)

その他：

シンポジウム、一般発表 (ポスターのみ)、商

業展示

託児所設置（要・事前予約）

大会事務局：大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座  
準備委員長 原田京子

TEL：06-6910-1515 FAX：06-6910-1038

E-mail：39chihoukai@cc.osaka-dent.ac.jp

**第39回日本小児歯科学会中四国地方会  
大会および総会のご案内**

日 時：令和2年11月3日（火・祝）

会 場：海峡メッセ下関

大会長：大野秀夫

準備委員長：鈴木淳司

学会テーマ：「Medical CareとHealth Care—Public  
Healthの考え方を小児歯科臨床へ—」

講演：

1. 基調講演

- (1) 深井稷博先生：Public Health と小児歯科
- (2) Amit Khanal：Oral Health Promotion Through Schools

2. Public Health を考慮した臨床セミナー

- (1) 小川晴也：咬合誘導に関して（仮）
- (2) 高橋昌司：咬合誘導に関して（仮）
- (3) 奥 猛：障がい児の歯科治療に関して（仮）
- (4) 滝川雅之：妊産婦歯科に関して（仮）
- (5) 宮内康範：サホライドに関して（仮）
- (6) 筒井昭仁：フッ素に関して（仮）

3. 歯科衛生士セミナー

(1) 基調講演

白田千代子先生：Public Health と口腔機能発達不全の問題

(2) 実践

長岡京香：（医）おおの小児矯正歯科における口腔機能発達不全の実践

4. ランチョンセミナー（松風）

大会事務局：（医）おおの小児矯正歯科

**第38回日本小児歯科学会九州地方会  
大会および総会のご案内**

日 時：令和2年10月4日（日）

会 場：かごしま県民交流センター

大会長：山崎要一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野教授）

準備委員長：稲田絵美（鹿児島大学病院小児歯科講師）

学会テーマ：「子どもを取り巻く連携医療の重要性  
～小児歯科ができること～」

講演者：

特別講演 河野嘉文先生

（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野教授）

教育講演 杉村光隆先生

（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔全身管理学分野教授）

シンポジウムテーマ：小児在宅医療の現状と小児  
歯科の役割

小方清和先生

（東京都立小児総合医療センター小児歯科医長）

石倉行男先生

（医療法人発達歯科会 おがた小児歯科医院理事長）

西国領俊子先生

（西国領歯科医院副院長）

歯科衛生士セミナー（シンポジウム形式）

テーマ：小児歯科における歯科衛生士の役割と可能性



大内山晶子先生  
(医療法人 おく小児矯正歯科)  
北上真由美先生  
(鹿児島大学病院臨床技術部歯科部門)  
帆北友紀先生  
(鹿児島大学病院臨床技術部歯科部門)

大会事務局：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
小児歯科学分野  
〒890-8544  
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1  
TEL：099-275-6262 FAX：099-275-6268  
E-mail：g-kadai@d1.dent.kagoshima-u.ac.jp

〈日本小児歯科学会関東地方会〉  
平成30・31, 令和元年度 役員名簿

会 長	早川 龍
副会長	田中 晃伸
	富永 真澄
幹事長	浜野 美幸
会 計	小方 清和
幹 事	藤岡 万里
	伊田 博
	岩下 智
	草間 里織
	巢瀬 賢一
	高橋 康男
	柿野 聡子
	関口 五郎
	高野 博子
	田中 英一
	谷 博司
	中村佐和子
	諸星 孝夫
	吉中 律
	熊澤 海道
	権 暁成
	関 龍彦
	保田 将史
	山崎 優
監 事	井上 雄温
	丸山進一郎
顧 問	木村 興雄
	吉田 昊哲
	井上美津子

■編集後記

令和になり最初の会報が無事発刊できました。この会報作製に関わっていただいた方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年の流行語大賞にラグビー日本代表が掲げた『ONE TEAM』が選ばれました。ラグビー日本代表チームは『ONE TEAM』を合言葉に過去最高のワールドカップベスト8という好成績を得ました。『ONE TEAM』は我々歯科界にも当てはまる言葉だと思います。私のような開業医も、歯科医師や歯科衛生士、歯科助手などの医院スタッフが『ONE TEAM』とならなければ、良い診療をすることができず良い結果を得ることができません。全国の小児歯科医や小児歯科学会も『ONE TEAM』とならなければ、子どもの歯を守ることはできず良い結果を得ることができないと思います。10月に取手で開催予定の第35回関東地方会大会も、学会実行委員が『ONE TEAM』となって有意義な大会になるよう準備を進めています。また、今年の夏には東京オリンピックが開催されます。こちらも日本全体が『ONE TEAM』となり良い結果が得られることを期待しております(3月2日追記：この会報が皆様のお手元に届く頃には、新型コロナウイルスが収束に向かっていることを願っています)。(山崎 優 記)

令和2年(2020)3月18日 印刷

令和2年(2020)3月25日 発行

発行者 早川 龍

発行所 日本小児歯科学会関東地方会 会報編集委員会

※2020年4月1日以降、関東地方会事務局は下記となります。

〒183-8561 東京都府中市武蔵台2-8-29

東京都立小児総合医療センター 小児歯科

日本小児歯科学会関東地方会事務局 TEL 042(300)5111

〈お知らせ〉

住所変更、姓変更は本会事務局では取り扱っておりません。  
必ず口腔保健協会 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9  
TEL 03(3947)8891(代)へお願い致します。